

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		地域おこし協力隊事業						予算事業名		移住・定住促進事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				02	01	07	7003	経常経費					
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業			
		5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり (市民参加・広								企画政策課			
		②広聴広報の推進						担当課係等		政策調整係			
1PR活動等の充実													
事業期間		新規 (令和 3年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
地域力の維持・強化を図り、地域活性化に繋げるとともに、隊員等の「地域おこし」「定住」「起業」が実現すること。							人口減少や高齢化等の進行が進むなか、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら地域力の維持・強化を図っていくため、導入に至る。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
都市部の人材(若者)を隊員として委嘱し、地域の課題や実情と隊員の活動目標とのマッチングを図ったうえで本市に居住してもらい、その地域課題解決や活性化に繋がる活動を行う。 ・北部市街地活性化に資するイベント等の企画、運営 ・地域特産物の生産、販売 ・市移住定住事業との連携							地域おこし協力隊員及び地域住民						
							【事業をとりまく環境の変化】 本格的な地方分権改革の時代を迎えた今、時代の動きに即応し、常に新たな政策を企画立案し、都市から地方への移住・交流の推進、地域活性化等の重要な課題に積極的に対応することで地域創生を図る必要がある。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
隊員が本市に居住し、地域資源の発掘や地域課題の解決を図り、市外への魅力発信や交流等の活動を行い、地域振興や地域活性化に繋げる。				隊員が本市に居住し、地域資源の発掘や地域課題の解決を図り、市外への魅力発信や交流等の活動を行い、地域振興や地域活性化に繋げる。				隊員が本市に居住し、地域資源の発掘や地域課題の解決を図り、市外への魅力発信や交流等の活動を行い、地域振興や地域活性化に繋げる。					
■事業費													
				R01年度		R02年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	0	0						
歳入計 (千円)				0		0							
歳 出 内 訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)							
歳出計 (千円) (A)				0		0							
伸び率 (%)													
備 考	総合計画 ページ 予算書 ページ												

新規事業事前評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	隊員自主事業活動数	回	目標	0.00	0.00	5.00
	地域活性化事業の実施数		実績	0.00	0.00	0.00
	事業参加者数	人	目標	0.00	0.00	200.00
	地域活性化事業の参加者数		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	関係人口形成者数	人	目標	0.00	0.00	20.00
	地域や地域の人々と多様な形で関わる人		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市役所移転が北部市街地に与える影響を最小限とするため、協力隊による活性化活動は有効である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	北部市街地の活性化は行政として取り組むべき課題である。
	手段の妥当性	A 妥当である	国が推進する制度でもある。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	隊員が能力を発揮できるようなサポート体制が必要である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	北部市街地の魅力向上は市全体の活性化につながる。将来的には全市的な活動も視野に入れる。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか 北部市街地の衰退は喫緊の課題である。また、市役所移転により更なる衰退を懸念する声も寄せられており、早急の対応策が求められている。本課題に関しては、商工観光課及び結城商工会議所も共通認識を持っており、協力隊というプレーヤーが加わることで、それぞれの事業がより一体的に推進できるものと考えられる。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 本市に興味がある市外の人材を呼び込み、外からの視点による「まちの魅力」の掘り起こしは、住民の郷土愛の醸成及び移住促進に有効である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	